

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人看護学概論	NSP11_004	必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
梶原 睦子	409	mutsuko.kajiwara	金曜日 10:40~12:10		
授業の目的・概要	基礎看護学概論で学んだ知識を基に、成人期にある看護の対象を全人的に理解し、成人看護に必要な知識を教授する。内容としては、成人各期の発達段階の特徴・発達課題、成人を取り巻く環境や生活習慣と健康問題の関連性、成人期にある対象の健康障害の種類・特徴や健康レベルに応じた看護の概要について学習することで成人看護の役割を理解できるよう教授する。また、成人看護に必要な理論と活用方法の学習をとおして成人看護に関する理解を深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	看護学概論で学習した人間、看護、看護の役割などを復習した上で、成人期にある対象を理解し成人看護に必要な基礎知識を学習すること。				
教科書	成人看護学 成人看護学概論改定第4版/南江堂2022				
参考書	国民衛生の動向2022/2023 /厚生労働統計協会 /2022				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	ライフサイクルから見た成人期の位置づけについて説明できる。		NS(1)(2)		
②	成長・発達過程からみた成人の特徴を説明できる。		NS(1)(3)		
③	成人を取り巻く環境と生活について説明できる。		NS(1)(3)		
④	成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策について説明できる。		NS(3)(4)		
⑤	成人の健康状態に応じた看護に必要な基本的考え方について説明できる。		NS(1)(2)(3)(4)		
⑥	成人の健康状態に応じた看護の特徴について述べるができる。		NS(3)(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	成人期の特徴について学習する。 (成人の定義、成人期の特徴 等)	講義 GW	事前課題：テキスト第I章～II章を読む。 事後課題：与えられたテーマについて調べる。	4	
2	成人を取り巻く状況について学習する。 (家族・仕事・生活・セクシュアリティ・環境問題 その他)	GW	事前・事後課題：与えられたテーマを調べてまとめる。	4	
3	成人を取り巻く状況について学習する。 (成人の定義、成人期の特徴 家族・仕事・生活・セクシュアリティ・環境問題 その他)	発表	事前課題：発表資料を作成する。 事後課題①：まとめたテーマについて自己の考えをまとめて提出する。	4	
4	成人期にある人の健康について学習する。 (成人保健 保健・医療・福祉対策 その他)	講義	事前課題：第III章を読んでくる。	2	
5	成人期にある人を看護するための基本的な考え方について学習する。(関係・適応・発達・統合)	講義	事前課題：第IV章を読んでくる。	2	
6	成人期にある人を看護するための基本的な考え方について学習する。(関係・適応・発達・統合)	講義	事前課題：第IV章を読んでくる。	2	
7	成人期にある人の健康状態に応じた看護について学習する。(ヘルスプロモーション・健康の保持増進・急性期・リハビリテーション期 慢性期)	講義	事前課題：第V章を読んでくる。	2	
8	まとめ・成人看護を充実させる実践的環境	講義	事後課題②：「成人看護学での学び」についてレポートにまとめ提出する。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人看護学】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	70	20	10	0	0	100
	思考・推論・創造する力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	0	5
問題を発見・解決する力	10	10	0	0	0	20	
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	基本的知識について、70%評価する。				試験終了後に振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	レポートにより、授業内容の理解および学生自身の考え方が明確に表現されているかを20%評価する。 (事後課題①②20%)				授業内で助言および共有を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①	✓	発表資料や態度により、テーマの内容の理解や表現伝達する力や取り組み姿勢について10%評価する。				授業内で助言および共有を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①	✓					
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
他担当教員							
教員の実務経験	科目責任者は、看護師として臨床経験15年(非常勤含む)、大学教員として看護基礎教育を20年以上経験する。						
実践的授業の内容	看護師としての臨床経験と大学教員としての教育経験と知識を活かし、成人看護の基本的な知識の修得を目指す。						
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・試験への「教科書持ち込み」は認めない。 ・実際の学生の理解度や進捗状況によりシラバス内容を調整することがある。その際は適宜連絡する。 ・レポート課題の提出が2回ない場合は定期試験の受験資格を失うので注意すること。 						